

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 20 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 20 日 作成

| | | | | | | |
|---|--|----|-------------------|--|-----------------------------------|---|
| 事務事業名 | 第三セクター見直し事業 | | | <input type="checkbox"/> マニフェスト関連 | <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 | <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連 |
| 総合計画体系 | 政策 | 4 | みんな元気で笑顔あふれるまちづくり | 所属部 | 産業振興部 | 課長名 米澤 俊一 |
| | 施策 | 24 | 行財政改革の推進 | 所属課 | 商工振興課 | 担当者名 中村公彦 |
| | 基本事業 | 90 | 公有財産の管理運営 | 所属班 | 商工・企業誘致班 | (内線) 1251 |
| 予算科目 | 会計 | 1 | 1 | 1 | 1 | 事業連番 - |
| 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) | | | <input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始 | | 成果優先度評価結果 9 コスト削減優先度評価結果 6*25 |
| 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) | | | | | | |
| 【事業の内容】平成18年12月制定の「合志市集中改革プラン」に基づき、市の第三セクターである(株)にしごうしの必要性や妥当性を検討する。(※合志市は5,000万円の出資者であり指導監督の立場にある) | | | | | | |
| 【業務の流れ】 | | | | | | |
| ・三セク見直し等庁内検討会の開催 | | | | | | |
| ・市担当部所(財政課・商工振興課)と(株)にしごうし取締役会との間で三セク運営形態等についての協議を行う事務を担当している。市としては大株主として組織の存続並びに市財政悪化を防止するための指導監督を行う | | | | | | |
| 【主な予算費目】予算措置なし | | | | | | |

1 現状把握の部(DO、PLAN)

| | |
|--|---|
| (1) 事務事業の目的と指標 | |
| ① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・三セク見直し検討会を7回開催し、会社運営方法や具体的改善事項について審議した。 1)年次計画及び年次報告に対するの検討、指導 2)モニタリング指針による管理運営評価 3)次回更新方針の検討 | 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・三セク見直し検討会の開催 1)指定管理者申請書の検討 2)決算審査、年次報告の検討 3)新年度事業計画の検討 |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 株式会社にしごうし 市出資金 | ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 回 → ア 会議数 イ |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (株)にしごうしの安定経営を確保する 安定した経営を行うことで市出資金を確保できる | ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 千円 → ア (株)にしごうしの経常利益 イ 市出資金の現在高 |
| ④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 目的に沿って適正な管理運営が行われ、市の財政負担がない経営がなされる。 | ⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % → ア 当年度経常利益高/前年度経常利益高 イ 当年度市出資金残高/前年度市出資金残高 |
| | ⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 目的に併せて有効活用されていない資産の割合 イ |

(2) 総事業費・指標等の推移

| 事業費 | 投入量 | 単位 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 全体計画 ~ 年度 | |
|----------------|----------|---------|--------------|--------|----------|--------|----------|-------|--|--|-----|
| | | | 実績(決算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | 実績(決算) | 目標(当初予算) | (目標) | (予定) | | |
| 事業費 | 財源内訳 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | 総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0 0 | |
| | | 都道府県支出金 | 千円 | | | | | | | | |
| | | 地方債 | 千円 | | | | | | | | |
| | | その他 | 千円 | | | | | | | | |
| | | 繰入金 | 千円 | | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | (A) 事業費計 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 人件費 | うち指定経費 | うち時間外、特殊勤務手当 | 千円 | | | | | | | |
| | | | 正規職員従事人数 | 人 | 3 | 3 | 3 | 20 | 3 | | 3 |
| | | 延べ業務時間 | 時間 | 210 | 490 | 490 | 3,282 | 500 | 500 | | 500 |
| (B) 人件費計 | | 千円 | 834 | 1,950 | 1,950 | 13,062 | 1,990 | 1,990 | 1,990 | | |
| トータルコスト(A)+(B) | | 千円 | 834 | 1,950 | 1,950 | 13,062 | 1,990 | 1,990 | 1,990 | 0 | |
| 活動指標 | 回 | | 3 | 7 | 5 | 5 | 8 | 5 | 目 標 合 計 値 画 22 年 度 | | |
| 対象指標 | 千円 | 183 | -1408 | 50000 | 50000 | 50000 | 50000 | 50000 | | | |
| | 千円 | 50000 | 50000 | 50000 | 50000 | 50000 | 50000 | 50000 | | | |
| 成果指標 | % | | | | | | | | | | |
| 上位成果指標 | % | | | | | | | | | | |

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
合志市となり、行財政改革の一環として「合志市集中改革プラン」制定や国総務省の指導に伴い、三セクの見直し事業が発生した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
西合志町時代から業務報告を定期的を受け、経営状態を把握し指導を行ってきた。
平成15年12月付け総務省の「第三セクターに関する指針の改定について」や平成18年付け総務省の「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」が制定され、より一層の第三セクターの経営健全化の指導が必要となっている。
平成19年11月 三セク見直し庁内検討会を設置し、また、施設に係る予算要求を初めて議会において協議が行われた。
平成20年度には市議会全員協議会に次回更新の基本方針等の報告を3回実施した。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
市議会から、第三セクター(株)にしごうしの経営形態への情報公開の要望があがっていた。

| | | | | | |
|-------|-------------|-----|-------|-----|-------|
| 事務事業名 | 第三セクター見直し事業 | 所属部 | 産業振興部 | 所属課 | 商工振興課 |
|-------|-------------|-----|-------|-----|-------|

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

| | | |
|-----------------|--|--|
| 目的 妥当性 評価 | ① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「(株)にしごうしが安定した経営を確保する」「安定した経営を行うことにより市出資金を確保する」ことにより、結果の「目的に沿って適正に管理され、市の財政負担がない経営がなされる」ことに結びつく。 |
| | ② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 第三セクター「(株)にしごうし」への出資金が20年度に経営形態の見直しにより減資を行った結果、5000万円となった。市出資金を有効にまた安定した状態に保つことは市としての責務であるため関与することは妥当である。 |
| | ③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事務事業の目的が行財政改革であり、「(株)にしごうしの安定経営」「市出資金の確保」は、意図として適切である。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ | <input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 会社法をはじめ行政では一般的に取り扱わない専門知識が必要となり、単独課の対応では無理をしている状況があり、関係職員数名でプロジェクトを組織することにより今まで以上の成果が望める。 |
| | ⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ | <input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 事業を実施しないと「(株)にしごうしの安定経営」「市出資金の確保」が難しくなり、ひいては市の関与ができなくなる。 |
| | ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷ |
| 効率性 評価 | ⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費無し |
| | ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ プロジェクト化した組織で対応することにより、より一層の効率的な事業が展開できる。 |
| 公平性 評価 | ⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市が出資した第三セクターが対象であるので、公平公正である。 |

3 評価結果の総括(SEE)

| | |
|--|-------------------------|
| (1) 1次評価者としての評価結果 | (2) 全体総括(振り返り、反省点) |
| ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | ③ 効率性については、人件費の削減余地がある。 |

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|--|----------|---|--|--|
| (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) プロジェクト化した組織で対応することにより、効率的な事業が展開できる。 | (2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | | 維持 低下 | ○ | | |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 低下 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

| | | |
|------------|---|------------------------------------|
| (1) 目的の直結度 | 8 | (直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9) |
| (2) 貢献度 | 9 | (貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12) |